

2017年11月13日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院循環器内科で、心エコー図検査を受けたことのある方へ

和歌山県立医科大学循環器内科講座では、以下の臨床研究を実施しております。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用させて頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払わせて頂きます。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

スペックルトラッキング法を用いた僧帽弁輪移動距離による各種心疾患における心筋伸縮評価：後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 循環器内科講座 准教授 穂積 健之

3. 研究の目的

心エコー図検査では、各種の計測を行って心臓の機能を評価しています。その代表として、心臓の収縮指標として、心室から1回に拍出される量の割合（駆出率）が計測されています。近年では、心筋の伸縮率（ストレイン）が計測されるようになり、各種心疾患の予後推定に有用と報告されています。しかし、ストレイン計測は、画質不良例では困難で、やや煩雑なため、一般には普及していません。一方、心室の基部（僧帽弁輪）の動きを自動計測可能な手法（解析ソフト）が開発され、画質不良例でも簡便に計測でき、新たな心筋伸縮指標として期待されます。そこで我々は、すでに記録されている心エコー図から計測された僧帽弁移動距離を従来のストレインと比較し、新たな指標が心筋の伸縮評価に有用か検討し、今後の心機能指標としての有用性を評価したいと考えています。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

本学附属病院循環器内科にて、2009年1月1日から2017年9月30日に、心エコー図検査を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、上記期間に心エコー図検査施行時の患者さんの心エコーデータ、および心疾患に関する基本的な臨床情報です。

(3) 方法

心エコー検査時の心エコー図データ、および検査時の本学附属病院の診療情報を基に、心機能指標間での比較検討を行います。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。

研究対象から除外させていただきます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学循環器内科講座

担当医師：穂積 健之、太田 慎吾

TEL : 073-441-0621、 FAX : 073-446-0631

E-mail : thozumi@wakayama-med. ac. jp